

まな 学ぶ

海の「生き物」たちの映像を見て 親子のコミュニケーションのきっかけに

「ドキドキ海底らんど」の魅力が、ゲーム中に登場する「海の生き物」たちのリアル映像。子供たちが映像を見て興味を持ち、横や後ろでそれを見ている両親がサポートすれば、子供たちとのコミュニケーションのきっかけにもできる。また、コースの最後などに現れる「クイズ」も子供たちを惹きつけるポイント。ゲームの世界でも知育・情操教育が重要視されるなか、同機のような「知育要素」が子供たちを安心して遊ばせる面で貢献してくれるはずだ。



コースの通過にあわせて、海の生き物たちが実際の映像と一緒に出現

*ゲーム画面は観覧中です



コースの最後や途中でクイズが出現。操縦桿を左右に倒して回答するシンプルなお題形式で、幼児の興味を引き立てる



現在、登場する「海の生き物」を鋭意制作中。人気の高い生物だけでなく、珍しいレアキャラにも出会えるかもしれない



海中で生活している映像が流れるので、子供たちの興味も当然高くなる。水族館や図鑑などへの興味にもつながりそう

ドキドキ かいいてい 海底らんど



*ゲーム画面は観覧中です



海底を探検しながら海の生き物を学ぶ 知育型キッズアーケード機が新登場!!

今春発売された「みんなでドライブ!! N-BOXカスタムver.」が高い人気を受けた株式会社マインズから、新たなキッズアーケードゲーム「ドキドキ海底らんど」が来春登場する。潜水艦に乗り込んで海底を探検しながら、実際の生き物たちの映像やクイズに答える知育型キッズゲーム。今回はその魅力と共に同社が注力展開するキッズマシンを紹介したい。

■メーカー：株式会社マインズ ■ジャンル：知育型キッズアーケードゲーム ■発売日：来春予定
■サイズ：W1,250×D1,720×H1,820mm ■重量：225kg ■消費電力：90W
■問い合わせ先：マインズ 東京営業所 03(6811)0501 レンタル相談：株式会社エンターテイメント 03-6825-6833
※筐体・ゲーム画面などは開発中のため、本製品では仕様・デザイン・ゲーム内容など、大きく変更される予定です。

Interview

「もっと面白くするために」「知育」に加えて、「遊び」と「楽しさ」の魅力をさらに高めます。

「ドキドキ海底らんど」は、海外のキッズアーケード機をマインズが日本向けにアレンジし、子供たちが楽しみながら知識を付けられるよう開発中のキッズマシン。まだ、現段階では筐体デザインやゲーム内容など未確定の部分も多いが、ここからブラッシュアップして登場する海の生き物やクイズなどを仕上げていくと語る。完成品ではどのような姿を思い描いているのか？開発チームにその意気込みを伺った。

——本作は「海」の世界がコンセプトになったのでしょうか？
開発 前作の「N-BOX」はキッズライドでしたが、今回の「ドキドキ海底らんど」はモニターを使って遊ぶキッズアーケード機になります。その中で、遊ぶだけでなく、教育的なジャンルをやってみようという思いが強くありました。本作の元となったキッズ機とは海外のショーで出会ったのですが、内容をブラッシュアップして日本向けにすれば、かなりの可能性を秘めていると感じました。テーマ的にも「N-BOX」とは大きく異なる「海の世界」が舞台なので、店舗に設置した

「海の生き物」が多数登場！映像で本物の生態系を学びながら遊べるキッズアーケード機
「ドキドキ海底らんど」は、株式会社マインズが鋭意開発中の新作キッズアーケードゲーム。潜水艦型の筐体に入り込んで海底探検に出かけるゲームで、コースの途中に出会う海の生き物たちのリアル映像と解説が流れ、要所でクイズも出題。小さい子供たちに遊びながら、海の生き物、たちへの興味を抱いてもらう内容となっている。
登場する生き物たちは選べるルートによって異なるので、子供たちが繰り返し遊びたくなるのが魅力。同機をプレイさせる両親や祖父母にとっても、ただゲームを遊ばせるのではなく、海の生き物について興味を持たせることで、子供たちとの会話のきっかけや糸口を作ることができる。対象年齢が幼児〜小学生未満とあって、プレイ内容はいたってシンプルだが、今後開発を進めていく中でレアな生き物を登場させたり、見せ方もより海底らしくなるような工夫を凝らしたいとのこと。
ここ数年、キッズアーケード機を開発するメーカーが減るなか、マインズはこのジャンルに力を注いでいる。来春のロケテスト・稼働に向けてまだまだ始動段階とのことだが、幼児や保護者から支持される新マシンとして着目したい。